次の $\begin{tabular}{ll} \begin{tabular}{ll} \begin{tabular}{ll}$
(1) $x=3$ は $x^2-5x+6=0$ であるための $lacksymbol{}$ 条件である。
(2) $x=1$ は $xy=1$ であるための $lacksymbol{}$ 条件である。
(3) $x+y=0$, $xy=0$ は $x=0$, $y=0$ であるための 条件である。
(4) $x>0, y>0$ は $x+y>0$ であるための 条件である。
(5) $a,\ b$ が奇数であることは ab が奇数であるための $lacksquare$ 条件である。
(6) n が偶数であることは n が 4 で割り切れる整数であるための $\hfill egin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
(7) x, y が実数であることは $x+y, x-y$ が実数であるための $$
(8) $a,\ b$ が実数であることは $a+b,\ ab$ が実数であるための $lacksquare$ 条件である。
(9) AB//CD は四角形 ABCD が平行四辺形であるための A件である。
(10) $a+b>c$ は 3 つの線分 $a,\ b,\ c$ が三角形の 3 辺であるための $\ $ 条件である。
〔徳島文理大〕